



障害児の早期発見・発達支援で国際協力 ～モンゴル国が練馬区の障害児早期発達支援を学ぶ～

事前のお知らせ

| | |
|-----|------------------------------|
| とき | 平成29年1月19日(木) 9:30～17:00 |
| ところ | 練馬区立こども発達支援センター(練馬区光が丘3-1-1) |

モンゴル国の医師、教育関係者、社会福祉関係者等で構成される「障害児の保健・教育・社会保障委員会」関係者8名が研修生として、練馬区立こども発達支援センター(光が丘3丁目)で障害児早期発達支援を学ぶ。

これは、独立行政法人 国際協力機構(JICA)が2015年よりモンゴル教育文化科学省と人口開発社会保障省とともに実施している「モンゴル国障害児のための教育改善プロジェクト」の一環で、障害児の早期発見・子どもたちの発達支援・教育のモデルを構築することを目的としている。

当日は、こども発達支援センターを視察し、通所訓練事業の様子や発達相談の仕組み、他機関との連携等について具体的な支援の内容を学ぶ。



▲こども発達支援センター

【研修内容・スケジュール(予定)】

通所訓練事業の視察や、障害の早期発見と発達支援の取組など、実際の活動の様子等を通して、練馬区の障害児早期発達支援を学ぶ。

- 1月19日(木) [午前] 通所訓練事業の活動に参加し、実際の活動の様子を視察
- [午後] 事業の仕組みや他機関との連携、アセスメント方法等を受講

【交流の経緯】

独立行政法人 国際協力機構(以下 JICA)は、モンゴル国教育文化科学省と人口開発社会保障省とともに、「障害児のための教育改善プロジェクト」を2015年8月より開始し、4年間を予定している。

このたび、本プロジェクトの障害の早期発見・発達支援のモデル構築を目指す活動の一つとして、練馬区立こども発達支援センターを視察することとなった。

【モンゴル国の障害児支援の現状】

モンゴル国における障害のある子どもたちの教育課題は、障害の把握が困難であること、就学先が不十分であること、医療・教育・福祉面からの包括的な発達支援が不足していること等が挙げられる。モンゴル国政府は法制度の整備やアセスメントツールの開発、教員養成コースの開設などに努めているが、当該分野のさらなる充実と改善のため、本プロジェクトが開始された。

【参考】練馬区立こども発達支援センターについて(平成25年1月に開設)

当センターでは、医師、心理士、保育士、理学療法士などの専門の職員が、発達に心配のある18歳までの児童を対象に発達相談や通所訓練、家族および地域への支援事業など、関係機関と連携し、こどもの健やかな成長を支援している(平成27年度実績 専門相談のべ5,237人 通所訓練のべ8,433人)。

【問い合わせ】練馬区 障害者サービス調整担当課 こども発達支援センター
電話03-3975-6251